

H29年度 第3回 都市公園指定管理者評価委員会 会議概要

1. 日時：平成30年3月19日（月曜日） 午後3時00分から午後5時30分まで

2. 場所：大阪府庁別館7階 都市計画室会議室

3. 出席者：

山田委員長、嶽山副委員長、呉委員、関野委員

4. 議題：

(1) 指定管理者の評価について

(2) 表彰について

・各土木事務所都市みどり課長より、表彰対象となる取組みの説明

(3) その他

・平成30年度実施の公園管理運営に対するアンケート調査について

5. 主な議事内容

(太字：委員 細字：事務局)

(1) 指定管理者の評価について

◇ 長野公園の自己評価に「提案のとおり」のみの記載が多く、自己評価がおろそかになっている。なんらかの形で指導すべき。

⇒指導します。

◇ B評価を受けた公園は、公園ごとに対応方針をWEB上で公表する。

(2) 表彰について

◇ 本日以降、年度末までに指定管理者による労働災害が発生した場合など、何等かの問題でB評価になる場合がある。その際表彰取り消しになるため、備えとして次点候補を決めておく。

◇ ホームレス対応はどこまで普遍的な取り組みか。他の公園どの程度問題になっているか。

⇒ピークの頃は、服部緑地、大泉緑地、久宝寺緑地、浜寺公園で、1公園あたり100件以上はあった。府営公園に一時的な収容施設をつくるなど、福祉と連携して退去に取り組んだが、数十人オーダーで残った。毎年少しずつ福祉と指定管理者、土木事務所とが連携して減らしていつている。

ホームレスの居場所、受け入れる場所として、公園はまず大事。健康管理や就労支援を併せて取り組み、園内からいなくなったのはすごいこと。

◇岸和田のウォーターイベントはどのように開催したか。

⇒地域のイベントに出店している中で、岸和田のにぎわいづくりをやっているプロモーション協議会のメンバーの繋がり、主催者である青年会議所の関係者と話題にあがった。

蜻蛉池公園は次年度から指定管理者が変わるが、これまでのイベントの継続は可能か。

⇒協議会自体の継承について募集時に示しているが、次期指定管理者は協議会のメンバーとのネットワークづくりを新たためて行う必要性はある。

◇昆虫館は入館者数が増加したものの、投資した資金の回収は難しく、公園全体の集客がはかれるよう献身的に貢献している。また、昆虫館だけではなく、公園と連携したイベント、公園全体での昆虫のすばらしさを伝える活動に繋げている。

◇山田池公園の花しょうぶ園は、里山景観を含めた伝統園芸としても評価される。古典菊展は枚方市との連携により実施。懸崖菊を作れる人間も減っており、そうした点をしっかりとフォローする取組み。

◇知事賞は箕面公園の昆虫館での取組み。特別賞は、蜻蛉池公園のネットワークを活用したにぎわいづくり（知事賞の次点を兼ねる）、山田池公園の花しょうぶ園の活性化、久宝寺緑地の人道的なホームレス対応の3つで大阪府に意見する。

◇ 受賞者の発表は、平成30年3月までに事業者へ通知。5月17日に表彰式を実施。

(3) その他

・平成30年度から、全指定管理者が400サンプル以上のアンケートを実施。来園者の多い4月から実施する。